

松伏かがり火通信



アンコンシャス・バイアスってなんぞう？(第2弾)

日本語では「無意識の偏見や思い込み」などと表現され、誰もが持っているものです。無意識であるが故に自覚することは困難です。そこで、自分の中のアンコンシャス・バイアスに気付くきっかけになりますので、以下の項目でチェックしてみましょう。(「アンコンシャス・バイアス」の言葉の認知度は21.4% 内閣府調査から)

- 家事・育児は女性がするべきだ
- 育児は、子どもの相手をするだけだから気楽でいい
- デートや食事のお金は男性が負担するべきだ
- 女性は結婚によって経済的に安定を得る方が良い
- 女性は、か弱い存在なので守らなければならぬ
- 男性は仕事をして家計を支えるべきだ
- 男性は結婚して家庭をもって一人前だ

- 共働きでも男性は家庭より仕事を優先するべきだ
- 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない
- 男性から育児や介護休業の申請があると「奥さんは？」と、とっさに思う
- 昔からこうしているから、自分の両親がこうだったからと古い習慣をすすめる
- 女性に理系の進路(学校・仕事)は向いていない

いかがでしたか？
「そういう考え方はないなあ～」と思いましたか？

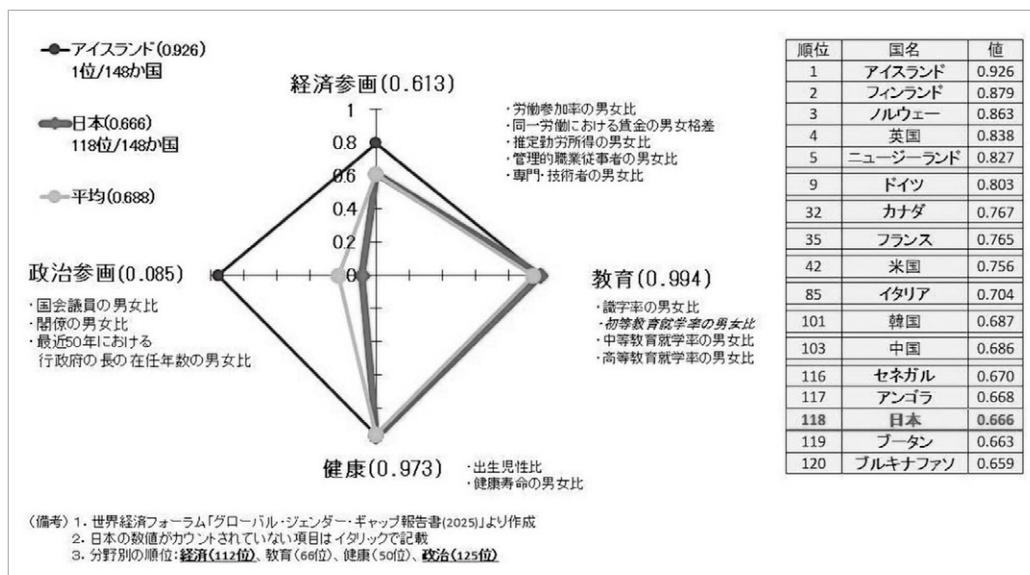
いくつか寄せられたご意見の中から一部ご紹介しましょう。

- ・ 家事は一緒に生活しているのだから、男性もやるのは当たり前のことです。育児も二人の子どもだから協力してやるのも当たり前のことです。
- ・ 育児は、子どもと遊ぶだけで楽だと思うなら試しに一人でやってみてはいかがでしょうか？ただ「遊ぶ」ではなく、子どもに合った遊び、子どもの体調、安全に気を配り、目を離さないようにしましょう。

お互いに相手に押し付けないという「意識」を持つことが大切です。相手を尊重する心を持ち、自分の気持ちはどうなのかな？という、その時々で無意識の思い込みと向き合ってみましょう。男女関係なく誰だって初めての事は上手くいかないものです。だからこそ、夫婦(家族)で一緒にやってみてはいかがでしょうか？

世界経済フォーラムが 「ジェンダー・ギャップ指数2025」を公表

この指標は、「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野から作成され、男性に対する女性の割合を示しており、0が完全不平等、1が完全平等となり、1に近いほど順位が高いとされています。調査対象148か国のうち、日本は前年と同じく118位でした。主要7か国(G7)のうち最下位で、アジアでもタイ、ベトナム、韓国、中国などを下回り、依然として男女平等で後れをとっています。「教育」と「健康」は世界トップクラスですが、「政治」と「経済」の値が低くなっています。



資料/内閣府男女共同参画課

《政治分野における課題》

国会議員、地方議会議員、閣僚に占める女性の割合が国際的に非常に低い水準にとどまっています。女性の政治参加の遅れは、政策決定の場において女性の声が十分に反映されないにつながり、社会全体のジェンダー平等の実現を遅らせる要因となっています。

《経済分野における課題》

管理職・役員に占める女性の割合が低く、男女間の賃金格差があり、女性の非正規雇用比率が高いことが、女性の貧困につながる問題も指摘されています。令和7年版「男女共同参画白書」によると「夫は仕事、妻は家庭」という考え方には、男女とも全ての年代で「反対」が「賛成」を上回っており、若い年代ほど「反対」の割合が高い傾向にあります。しかし、現実には共働き世帯でも、女性に家事育児などの負担が偏っていることが、女性のキャリア継続を困難にしています。長時間労働を前提とした男性中心の労働環境が、男女ともに働きやすい社会の実現を妨げています。

改善に向けた取り組みとして、多様な働き方の推進、女性の政治・経済分野への参画拡大、男性の育児参加促進、そして固定的な性別役割分担意識の解消などが重要です。

**“男女が共に現代の社会課題に対応し、互いの違いを理解し尊重し合うことで
誰にとっても生きやすい社会の実現を”**

～こどもまんなか社会とジェンダーのはなし～

令和7年8月27日に、埼玉県男女共同参画アドバイザーで、人権擁護委員としても活動され、松伏町男女共同参画推進委員の荻野裕佳里氏を講師に迎え人権セミナーを開催しました。(第9弾)

「こどもまんなか社会」とは、全てのこども・若者が身体的、精神的、社会的に幸福な生活を送ることができる社会のことです。その基本的な理念となっている「子どもの権利条約」には4つの原則があり、「生命、生存及び発達に対する権利」「子どもの最善の利益」「子どもの意見の尊重」「差別の禁止」です。こどもが安全に生き、健康に成長し、虐待や差別から保護され、社会に参加する機会を持つことを保証するものです。

こども家庭庁が2023年6月から7月にかけて、20代から40代の子育て世代に「こども・子育てにやさしい社会づくりのためのニーズ調査」を行いました。

質問 こどもと一緒にいるときに、不便を感じたり、周りからの理解や配慮が欲しかった場面を教えてください。(以下に寄せられた意見の一部抜粋)

〈公共交通機関を使ったとき〉

- ・エレベーターがない
- ・タクシーにもチャイルドシートを付けてほしい
- ・バス乗車の際、赤ちゃんを抱っこしながらベビーカーをたたむのが大変



〈公園で遊んでいたときや町を歩いていたとき〉

- ・ベビーカーで通りにくい道路や歩道がとても多い
- ・公園のトイレが汚い、防犯面でも心配
- ・トイレを洋式にしてほしい
- ・公園の雑草が伸び切っている

こどもに優しい社会は、みんなにとって優しい社会

あなたの経験や知識を町政にいかしてみませんか

町では、あらゆる分野への女性の参画を推進するため、各種審議会や講座等の講師に女性を積極的に登用したいと考えています。そこで、町と協力して何かやってみたい人、得意とする分野で活躍したい人を募集しています。



対象：町内に在住・在勤（在学）の18歳以上の女性で次のいずれかの要件を満たす方

- (1) 町政や地域の発展に熱意を持っている人
- (2) あらゆる分野の有識者及び有資格者
- (3) 勤務先や各種団体で社会活動を行っている人

詳細は企画財政課へご連絡ください。

※登録した方が必ず審議会委員や講座等の講師に登用されるものではありません。

そのアルバイト…本当に大丈夫？

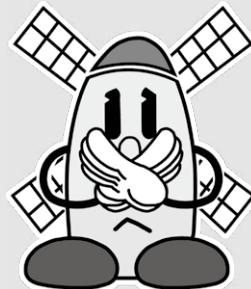
近年、大都市の繁華街を中心に女子高校生等によるマッサージ、会話やゲームを楽しめるなどの接客サービスを売り物とする営業が見られ、「JKビジネス」と呼ばれています。

一見すると問題のないアルバイト先に見える場合でも、女子高校生等が客から児童買春等の被害に遭うなどのケースが目立っており、安易に働くことはとても危険です。

実録

JKビジネスのリアル・・・
今、こんな被害が起きています。

- ・「バイトの面接」と騙され、わいせつな行為をされた。
- ・客に好意を持たれ、待ち伏せされるなどのストーカー被害に遭った。
- ・客と散歩中に立ち寄ったカラオケボックスで、わいせつな行為をされた。



JKビジネスは手軽なアルバイトではなく、危険なアルバイトです。



ネット上にあふれている甘い言葉に騙されないで！

「JKビジネス」に関連したトラブルに巻き込まれたときは
**全国に設置してある警察相談専用窓口「#9110」や
吉川警察署048-958-0110に相談してください。**

ひとりで悩んでいませんか？

夫や交際相手からの暴力や暴言が辛い、不安や孤独でどうしたらいいかわからない。
夫のこと、家族のこと、悩んでいることを相談してみませんか。

◆女性相談(要予約)◆

曜 日：月曜日(第1・3・5)、水曜日(毎週)、土曜日(第2・4・5)

時 間：午後1時～4時

場 所：役場内相談室(保育希望者は予約の際にお伝えください)

電 話：企画財政課 991-1815

☆「松伏かがり火通信」について、ご意見・ご感想をお寄せください。

発行／松伏町企画財政課 TEL 991-1815 FAX 991-7681 メール kizai1020300@town.matsubushi.lg.jp